

●どんな実験・工作なの？

アルミはく、磁石、プラスチックカップ、単三乾電池を使って簡単なモータを作り、回します。アルミはくで包んだ磁石の上に単三マンガン電池を立てます。プラスチックカップの底部分に画びょうをさし、細長く切ったアルミはくを左右にたらすように貼り付けたプラスチックカップを画びょうの先端が単三乾電池のプラス極の上に乗るようにかぶせると勢いよくプラスチックカップが回転します。よく知られたクリップモータより、ずっと簡単にモータを作ることができます。

●実験の仕方とコツ

1. 準備する物

アルミはく、プラスチックカップ、磁石（100円ショップで販売している物）、マンガン単三電池、画びょう、セロテープ

2. 工作の方法とコツ

カップにはり付けるアルミはくは幅1cm長さ約21cmとし、その中心部に画びょうの頭をテープで張り付けて置くと良いでしょう。

カップを良く回すためには、以下の点に注意しましょう。

- ・磁石をアルミはくで包み、平らな面にこすりつけて表面をなめらかにしておく。
- ・画びょうの先をプラスチックカップの底部分の中心にさし込む。
- ・ひらひらしているアルミはくをプラスチックカップにセロテープでとめておく。
- ・プラスチックカップからたれさがったアルミはくが磁石を包むアルミはくによく接触するようにその先端部分を斜めにカットして狭める。

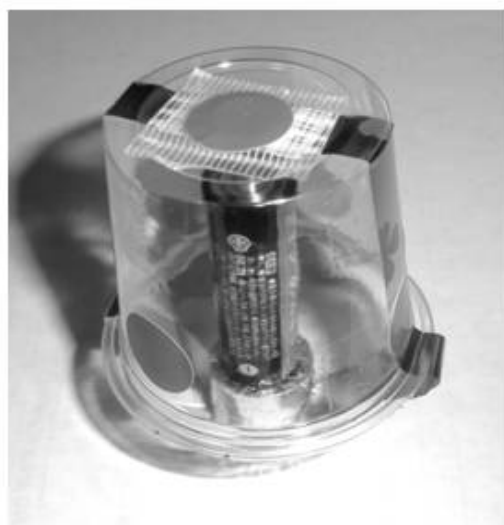
アルミはくで包んだ磁石の上下を反対にすると、プラスチックカップが反対側に回転します。確認してみましょう。

●気をつけよう！

プラスチックカップを長時間かぶせたままにしないでください。電流が流れ続けて電池がなくなり、熱くなることがあります。

特に、アルカリ乾電池を使うときには注意して下さい。

プラスチックカップからたれさがっているアルミはくは、大切に取り扱いして下さい。



完成品の写真



主な部品の写真